

第29回市政会議



婦人の立場から物申す

二人制は必要か」「投票所を見直しては」など二十三項目。家計を預かる主婦らしく、生活に密着した鋭い質問が相次ぎ、執行部も本会議さながらに熱心に答弁していきました。主な内容は次のとおりです。

助役は二人

必要か

市政への学習と生涯学習を深め、市の活性化に力添えをよこす恒例の市政会議が二月二十八日に市役所で開かれました。婦人の社会参加を進めるために、市連合婦人会（別役敏子会長）が主催して、結成以来毎年行われている市政会議は今年で二十九回目。市執行部からは、市長、助役をはじめ、関係各課長らが出席し、各地区代表の婦人四十五人と熱心に質疑を交わしました。

□苦しい財政の中で助役は二人もいるのか。また、南国市規模で助役一人制の自治体はあるのか。
 □第一助役は同和対策事業など主に統括的な仕事を、第二助役は財政、企画部門を担当と仕事分担されているが、市政全般に責任を持って仕事している。
 南国市には国・県の事業が集積しており、助役が出向いて折

衝するということも多く、無駄があるとか意思統一を欠くこともない。また、助役の給料は古参の課長と同じくらいであり、従って、南国市は助役一人制が最も適当だと考える。
 南国市より小規模な自治体でも助役ではないが課長の上に部長を置いているところは多い。



投票所の見直しを

□投票所の数が多すぎないので、現在の四十五投票所は、昭和三十五年から変更のないまま続いている。各投票所の有権者数

高齢者への福祉は

福祉は

□独居老人等に栄養のバランスの取れた食事を世話できないか。
 □地域のボランティア活動等を含めてもなかなか難しい。八月完成を目指し現在建設中の特別養護老人ホーム「白銀荘」内の、各地区を回り、独居老人や体の不自由な老人を連れてきて給食サービス、入浴サービス、機能

学校給食を

米飯で

回復訓練等を行う施設「デイサービスセンター」を利用していただきたい。
 □田園都市にふさわしい米飯給食の実施を考えては。
 □地域の活性化から見ても米飯給食は大事だと考える。現在、文部省等の指定を受け学校給食の見直しに取り組んでおり、父兄や市民の皆さんの考えをアンケート等で取り込んでいきたい。

市政会議に

参加して

北村喜美子さん（北小籠）
 日ごろは市政をあまり勉強する機会のない私にとって、たいへん良い学習の場となりました。初めて参加してまず感じたこ



とは、婦人会員の皆さんの熱の入った質問戦でした。各地区の代表者より執行部に対しての質問で、内容は運動公園、助役一人制、税金関係など市民生活に身近な問題がたくさんあり、最後まで熱心に質疑応答が続きました。私も初めて質問させていただき、たいへん良い経験になりました。
 私たちの質問や要望が一つでも多く成立して、これからの市民生活が豊かになることを希望します。私もこれから機会あるごとに勉強して知識を広めたいと思います。